

「ハートにコストはかからない」 地域密着の活動で、全国に 心のバリアフリーの輪を広げる

5年連続で東京都スポーツ推進モデル企業に選ばれ、「殿堂入り」となったあいおいニッセイ同和損害保険株式会社。16名のパラアスリートを含む計23名(2021年8月現在)の所属アスリートをスポーツ体験や講演会の講師として派遣し、地域に貢献。また、パラスポーツ支援を長く続けるために、コストを抑える工夫も行っている。



あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損保
MS&AD INSURANCE GROUP



企業情報

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

【担当部署】経営企画部

【所属人数】4名

【住所】東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号

【電話】03-5789-6308(直通)

【URL】https://www.challenge-support.com/



に社内での盛り上げを図った。
選手の努力や活躍を通じて、社員が自分ごととしてとらえるようになり、社内の一体感がさらに醸成されている。



日本代表に選出された選手のポスター

自治体と企業をつなげ、支援の輪を広げる

同社は、「地域密着」を行動指針の一つとしており、全国の地方自治体とともにさまざまな活動を展開してきた。障がい者スポーツ支援を通じた共生社会の実現を目指した活動にも力を入れ、東京都ワイドコラボ協定も締結している。例えば、渋谷区とは、2017年にS-SAP(シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー)協定を締結。「渋谷区でご活用いただくため、ポッチャ用具を寄贈しました。さらに、パラスポーツ支援の輪も広げたいと考え、当社の食堂スペースを利用してポッチャの体験会を行い、長谷部健区長はじめ渋谷区関連部署の皆さま、S-SAP協定締結企業や、ユニバーサルマナー研修などを手がける企業にも参加いただきました。皆さん楽しんでくださいましたし、何より和気あいあいとした雰囲気の中、渋谷区や企業同士が交流できて良かったと思います。」と倉田次長は振り返る。地方公共団体と連携した活動は、全国で年間約120回を数えるほどに成長した。最近では、「2021年9月までコロナワクチン接種会場として渋谷区に当社のホールを貸出しています」と、新たな広がりを見せている。

コストをかけないから、続けられる

同社では、一貫して大切にしていることがある。それは「コストをかけないこと」である。「少しでも長く続けるには、できるだけコストを抑えながらコツコツと活動を継続することが求められると考えています。当社では、SDGsと関連づけながらスポーツ振興を行っているため、SDGsに連動した取組みとして持続可能性の追求にもつながります。」(倉田次長)



同社所属パラアスリートを社員で応援

「パラスポーツ支援をしたいと思っても、社内ですぐに苦勞するケースがあるとしばしば耳にします。障がい者支援やパラスポーツの機運醸成を考える時、ハードはコストがかかりますが、ハートにコストはかかりません。」(倉田次長) そうはいつても、やはり自社で取り組むにはハードルが高いという企業・団体には、まずTEAM BEYONDに参加してはと、倉田次長は提案する。「TEAM BEYONDのワークショップや大会観戦に参加すると、人脈や情報、そして気づきが得られます。参加したら自社に持ち帰って何かをしなくては、などと難しく考える必要もないと思います。TEAM BEYONDに参加するだけで立派なパラスポーツ支援活動になるのですから。」(倉田次長)

今後の取組について

当社では、アスリート雇用そのものがスポーツ支援であると認識しています。「競技力向上」とともに、当社の行動指針にある「地域密着」の具現化を目指し、所属アスリート・地域・当社の三位一体の取組みの輪をさらに広げたいと考えています。とりわけ、パラスポーツに関しては、2022年以降も取組みを継続することが、「スポーツの社会的意義」を計る重要な源泉になると考えています。

社員が応援したくなるアスリートを雇用



同社の所属アスリート

「パラスポーツ支援を通じて、障がいのある方の自立支援を」との考えのもと、2014年よりパラスポーツ支援を開始した同社。まずはパラスポーツ観戦からと、初年度はジャパンパラ競技大会の全競技を観戦、現在では年間約20大会に拡大されている。海外では、2019年より同社の現地法人による応援活動も開始した。また、都道府県主催の障がい者スポーツ大会での運営ボランティア活動も各

地域で行っている。

「パラスポーツって、観るとどれも迫力があって面白い。そこで当社の社員たちがもっと、心から自然と応援したくなるアスリートを雇用しようと考えました。アスリート雇用はスポーツ支援そのものだと思います。」と、経営企画部スポーツチームの倉田秀道次長は語る。



倉田次長

「制度設計をするにあたり、3つの採用方針を決めました。1つ目は、「デュアルキャリア」(業務と競技を両立)。2つ目は「エリアサポート」(地域で応援の輪を広げる)。3つ目は「キャリアプラン」(引退後も継続雇用、能力や特性を生かしたプランを用意)。そして、人物重視の採用をすることです。」(倉田次長)

2021年8月現在、16名のパラアスリートが在籍しており、全国の職場に配属されている。そのうち7名は日本代表に選出され、2021年、世界最高峰の舞台上で活躍している。同社では本社での壮行会、地域での壮行会を開催し、アスリートへの激励とともに